

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―一九
甲府地方事務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさくあたたかい言葉です。

富士山啓発、山頂と五合目で

県内各地でも夏季啓発

この夏、富士山は空前の登山ブームに沸いた。その富士山での県連主催の啓発は今年で五年目、念願の山頂啓発組と合流した五合目啓発が、初めて実現した。



登頂者は五名。七月三十一日の午後山頂を目指し、翌八月一日早朝に山頂啓発を終えて下山。一方、五合目啓発組は丸山県連会長はじめ三九名、一日の午前八時に富士ビクターセンターに集合し、特別に用意されたラッピングバスで五合目に向かった。

五合目広場は登山者・観光客で埋め尽くされ、富士山人気の凄さに全員が度肝を抜かれつつも、山頂から既

に下山していた五名と無事合流した。こうして総勢四名による五合目啓発は開始され、二〇〇〇個の啓発物品はわずか三〇分で群衆の中に消えていった。急増する外国人登山客、猛暑を逃れた都会の人々、不況を富士登山で乗り切ろうとする会社員、様々な思いの交錯する五合目の雑踏だったが、まもる君とあゆみちゃんストラップは、国境も年齢も不況も乗り越えてそれぞれの人々の掌にしっかりと受け取られた。「山頂でも誰もが啓発を好

意的に受け止めてくれました」と、登頂者は嬉しそうに語ってくれた。参加者全員、充実の啓発活動であったようだ。

三年振りに山頂啓発が復活、念願の登頂組との合流啓発活動も実現、また峡南協議会からも初めて四名が参加するなど、今夏の富士山啓発は大きな一歩を踏み出し、県連の一事業として定着しつつあると言える。

富士山啓発参加委員の感想

丸山県連会長
都協協議会の皆様には、関プロ大会に続き、富士山啓発にもご尽力いただき、心から感謝します。天候にも恵まれ素晴らしい啓発になりました。登頂された皆さん、山頂啓発お疲れ様でした。
川崎人権擁護課長
初めて五合目啓発を間近に見て、とても良い啓発活動だと実感しました。新調したばかりのベストが、こういう混雑の場所ではとても目立っていいですね。
土肥県連事務局長・・・山頂啓発チーム
山頂啓発が復活できたことは大変嬉しい。山梨県人としては「富士山啓発」はなんとか続けたい。いつかは静岡側との合同啓発を実現させましょう。
増坪総明委員(甲府)・・・山頂啓発チーム
山頂は凄い混雑で、無事下山することを最優先しました。五合目啓発にも間に合い良かったです。

《紙面の都合で一部割愛して掲載しました》

友松本子委員(甲府)・・・山頂啓発チーム
山頂でも、良い啓発が出来ました。啓発物品をとても喜んで下さり、疲れも吹き飛びました。
小林一有委員(都留)
天氣が良くてほっとしています。最高の啓発活動になりました。富士急行さんも、ラッピングバスを用意して下さい、感謝しています。
園田雅夫委員(都留)
富士山は国際色豊で、それに対応したメッセージ入りの啓発物品を考えたらいいですね。
赤池善光委員(峡南)
初めて参加しました。富士山での啓発は、山梨県連としては最高の啓発だと思います。
小林容正委員(都留)
外国の方も多く、この人出の中での啓発は大変有意義だと、改めて感じています。

県内各地の啓発活動概要		
市町村	月日	行事名
甲斐	7/17	ふたばふるさと一夜
北杜	7/31	北杜ホースショー祭
南アルプス	7/31	サマーフェスタ 若草
笛吹	8/14	夏まつり
中央	8/14	与一まつり
北杜	9/5	甲斐源氏まつり
市川三郷	8/7	神明の花火大会
鰍沢	8/13	鰍沢ふるさと夏祭り
鳴沢	7/15	施設・保育園等啓発
小菅	7/17	盆踊り大会
丹波山	7/25	夏祭り丹波
富士吉田	7/25	市制祭
富士河口湖	8/1	街頭・施設等啓発
山中湖	8/1	報湖祭
上野原	8/1~	盆踊り大会
大月	8/8	市制祭
忍野	8/8	忍野八海祭り
道志	8/14	盆踊り大会
西桂	8/15	ふるさと夏祭り
都留	9/1	八朔祭り

(開催地・開催日も順不同)

また富士山啓発と相前後して、県内各地でも夏の啓発活動が実施された。このうち北杜市須玉ふれあい館広場で行われた甲斐源氏まつりでは、厳しい残暑の中、二〇〇人を超える参加者にリーフレット・ストラップ・うちわなどを配布、人権への関心・意識を高めた。

人権あんしん相談

全国一斉高齢者・障害者の人権あんしん相談強化週間の取り組みは、九月六日から一二日の一週間、甲府地方事務局内に特設の電話相談を開設、各協議会選出の相談員と常設相談員等が対応に当たった。



期間中寄せられた相談は一七件と昨年の倍増。二年目で認知度が上がったこともあるが、「自治体広報誌を見た」「テレビ・新聞で知った」と回答した相談者が同数の六件ずつであったことから、事前の情報提供がいかに重要かを再認識する結果となった。相談者の内訳は高齢者関連が一件、障害者は六件であった。

またこれより先六月二八日からの一週間、全国一斉子どもの人権一〇番の取り組みが行われ、相談件数は一七件とこちらも昨年を大幅に上回った。この電話相談は子どもの人権委員会

が担当、はじめなどの複雑かつ難しい相談に、懇切丁寧に応答した。

十一月五日からは全国一斉女性の人権ホットラインが特設される。男女共同参画委員会のメンバーが担当する予定。

とかく相談件数のみが注視されがちではあるが、相談者にとつて窓口は広く分かり易いことが第一で、問題が深刻かつ多様化の様相を呈する現在、今後も委員の幅広く忍耐強い取り組みが重要と言える。

SOSミニレター

昨年九月から今年九月までの一年間に法務局に寄せられたミニレターの数は、前年度とほぼ同数の一〇八通であった。内訳は表の通り

内容(含重複)	人
いじめ	34
家庭のこ	17
学校のこ	14
友人のこ	12
先生のこ	6
恋愛のこ	5
将来のこ	5
部活のこ	2
勉強のこ	2
その他	11

りであるが、昨年までなかった将来のことへの相談が寄せられ、子どもの世界にも将来や人生への不安があることが垣間見られた。

今年もまた一〇月に送られてくるミニレターの到着を待つて活動を実施することになるが、子どもへの虐待が連日のように報じられ、社会や地域の教育力が問われている今日、子どもたちが明るく笑顔で日々を過ごし、健やかに育っていくために、委員の地道な活動が期待されている。

ラッピングバス出発式

九月一日、県ネット事業の一環として、人権啓発ラッピングバスの出発式が舞鶴公園駐車場で行われた。バスの運行は一昨年一〇月より始まったが、二年たつた今、鮮やかだった黄色も色褪せたためブルーに塗り替えられてフレッシュな姿になった。この出発式となった。



一〇時半より城北幼稚園の園児による華麗なマーチングバンドの演奏が花を添える中、セレモニーは順調に進められ、人権擁護の大役を担うバスの出発を祝った。

全連定時総会の報告

七月二二・二三日の両日、大阪市において第五八回全連総会が開催され、本県連から丸山会長が副会長に再任、網倉副会長が総務委員会副委員長に決定した。

議事の中では「財」人権擁護協力会の存続・維持に関する協力要請の提案があり、熱心な議論が交わされ採決した結果、全連としては支援することが決された。その他、提案された案件についても討論の結果、議決・承認された。

委員から一言

弛まぬ努力と経験と

小笠原和子(大月市)

与えられたことはもとより、何にでも積極的に取り組む姿勢と良い汗を流すことに心がけたい。流す涙の中で、人権が侵害され流す涙は、私達にとつて一番辛いことであり、この様なことの無い世の中を作っていきたい。相談者が求めている全てを、とまではいかないが、きちつと対応することにより満足してもらおう努力は常に必要だ。そしていつか、そこにいるだけで頭を下げてもらえるような人間になりたい。

今後の行事予定

- 第一回県連研修会
十一月九日(火) 一三時半
中央市立生涯学習館
- 人権啓発ふれあいフェスタ
・吉田会場 一〇月二三日(土)
・小瀬会場 十一月二三日(土)
一四日(日)
- 標語コンテスト表彰式
十一月 六日(土)
- 中学生人権作文表彰式
十一月二日(土)
- 人権週間
十一月四日〜一〇日
- ・人権啓発パレード
十一月五日(日)
- ・その他協議会ごとに対応

退任された委員の方

平成二二年十月一日までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りします。(敬称略)

- 弦間 泉(笛吹市)
- 櫻井 義長(北杜市)
- 長坂今朝壽(北杜市)
- 大久保英爾(富士川町)
- 渡邊 正俊(富士河口湖町)
- 水上邦子委員(韮崎市)は八月にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

編集後記

今後とも気温の乱高下が続きます。ご自愛專一に:

